

【中学生議会 いきいきと健康に暮らせるまち 市長答弁①】

質問区分	中学生議会	議員名	川口 ^{かわぐち} 萌乃 ^{もえの}	議員
発言順	NO:1	所管課名	福祉	課

質問事項	◇障がい者との交流について
具体的な内容 (質問取り事項)	学校や地域で障がいについて学び考える機会をつくる

【市長答弁】

川口（かわぐち）議員の質問にお答えします。

再来年の2020年には東京パラリンピックが開催されます。

市としましても、障がいや障がい者への理解を深めていただき、半世紀ぶりに日本で開催されるこの大会を、地域から盛り上げていきたいと考えております。

市ではこれまでもいくつかの障がいについて学べる事業を実施してきておりますが、これに加えて、障がいのある人無い人が一緒になってスポーツをすることで相互の理解を深めてまいりたいと考えております。

詳細は、担当部長より説明します。

【中学生議会 いきいきと健康に暮らせるまち 部長答弁①】

質問区分	中学生議会	議員名	かわぐち もえの 川口 萌乃	議員
発言順	NO : 1	所管課名	福祉	課

質問事項	◇障がい者との交流について
具体的な内容 (質問取り事項)	学校や地域で障がいについて学び考える機会をつくる

【福祉部長答弁】

川口（かわぐち）議員の質問にお答えします。

市ではこれまで障がいや障がい者について学び考える機会として次の事業を実施してまいりました。

小中学校では、総合的な学習の時間や道徳の学習などで、アイマスク体験、車椅子体験、義足体験などを学習に取り入れています。

福祉課関係では、「地域で共に生きようフェスティバル」を実施しております。これは精神障がい等当事者に対する誤解や偏見の除去、軽減と、地域の住民と当事者との交流の機会を目的に、精神障がい者を対象としているサービス等事業所や当事者、市民が実行委員会を組織し、2年に1度開催しております。

また啓発事業として、毎年12月3日から9日の「障害者週間」にちなみ、車いす陸上競技選手の講演会、聴導犬・補助犬の講演とデモンストレーション、あいさポーター研修を実施してまいりました。今年度は12月16日には発達障がいをテーマに講演会を開催する予定です。

市長が申しましたとおり、2020年には、東京パラリンピックも開催されることから、今後はボッチャ、ペタンクなどの障がい者と一緒になってできるスポーツの講習会やイベントを実施し、障がいや障がい者への理解を深めていきたいと考えます。

その際には川口議員もぜひお友達を誘っていただき、ご参加いただければと思います。

【中学生議会 いきいきと健康に暮らせるまち 市長答弁②】

質問区分	中学生議会	議員名	たかしま 高嶋	ほなみ 穂波	議員
発言順	NO: 2	所管課名	健康推進		課

質問事項	◇若い人の健康推進について
具体的な内容 (質問取り事項)	病気の恐ろしさや検診について伝える場をつくる

【市長答弁】

高嶋（たかしま）議員の質問にお答えします。

市では、市民お一人お一人が健康に関心を持ち、自ら健康づくりに継続的に取り組むことで、「健康長寿のまち」の実現を目指しているところです。

中でも、議員ご指摘のとおり、若いころから健康に関心を持ち、検診等で自分の体の状態を知っていただき、食生活や運動・生活リズムなどの生活習慣を振り返り、健康づくりに取り組むことは重要であると認識しています。

そのため、20歳からの若い方を対象とした事業も行っています。中でも、生活習慣病予防のための「若年者健診」は年々受診者が増加しています。

また、がん検診も発症年齢等を考慮した国の指針に基づき、行っているため、若い年代から受診できる検診もあります。

若い世代は、日々忙しく過ごしていると「自分は病気とは関係ない」と健康に関心が低い方もいるかもしれませんが、若いころからの生活習慣が将来の健康につながってきます。

今後も若いうちから正しい知識と自分の健康に関心を持っていただけるよう、効果的な啓発活動に努めていきたいと考えています。

詳細は、担当部長より説明します。

【中学生議会 いきいきと健康に暮らせるまち 部長答弁②】

質問区分	中学生議会	議員名	たかしま 高嶋 穂波	議員
発言順	NO: 2	所管課名	健康推進	課

質問事項	◇若い人の健康推進について
具体的な内容 (質問取り事項)	病気の恐ろしさや検診についてを伝える場をつくる

【保健医療部長答弁】

高嶋（たかしま）議員の質問にお答えします。

健康長寿の実現のためには若いころからの健康づくりが重要です。

しかし、仕事や育児で忙しい若い世代ほど、健康づくり事業への参加も少なく、女性がんの検診受診者数は、30歳代では60歳代の約70%となっています。

また、健康に関する情報は世間にあふれているため、何に取り組んだらいいかを迷ったり、かえって体に良くないことを行ったりしていることがあります。やはり個々の心身の状態に応じた適切な取り組みが必要となります。

そのような中、市では子供の頃からの健康づくりに取り組んでおります。特に歯科保健では、むし歯や口腔機能の健康を守るために認定こども園や小中学校でのフッ化物洗口や歯科指導などを行っております。

さらに、健康で生きる基本である食に関しても、食育の施策を学校や地域と連携して進めております。

また、高嶋議員のご指摘のとおり、市民のみなさまへの情報提供は重要です。

若い世代ほどパソコンやスマートフォンなどから情報を得る機会も多いため、啓発活動を精査し、より効果的な取り組みを推進していきたいと考えています。

【中学生議会 いきいきと健康に暮らせるまち 市長答弁③】

質問区分	中学生議会	議員名	深澤 佑菜	議員
発言順	NO : 3	所管課名	福祉	課

質問事項	◇生活保護制度について
具体的な内容 (質問取り事項)	生活保護受給者が達成感を得られるようなボランティアの場の設定

【市長答弁】

深澤（ふかさわ）議員の質問にお答えします。

生活保護制度は、日本国憲法第25条「国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」との規定に基づき、国が最低限度の生活が営めるように保障している制度です。

この制度では最低限度の生活を保障するだけでなく、生活保護対象者の自立もその目的としております。

自立という面では、就労の前段として深澤議員にご提案いただきましたボランティア活動も有意義ではあると考えますが、ひきこもりや障がいなどにより就労ができない生活保護受給者へ、まずは社会活動ができるようになるための訓練を受けていただき、それを支援していくことが大切だと考えます。

詳細は担当部長より説明します。

【中学生議会 いきいきと健康に暮らせるまち 部長答弁③】

質問区分	中学生議会	議員名	深澤 佑菜	議員
発言順	NO : 3	所管課名	福祉	課

質問事項	◇生活保護制度について
具体的な内容 (質問取り事項)	生活保護受給者が達成感を得られるようなボランティアの場の設定

【福祉部長答弁】

深澤（ふかさわ）議員の質問にお答えいたします。

生活保護制度では、就労ができる可能性のある方は経済的に生活の安定を図っていただくため、仕事の紹介をしております。

また、ひきこもりなどですぐに就労することが難しい方には、就職のための職業訓練や働くための生活のリズムを整えること、履歴書の書き方、社会性を学ぶことなどの就労するための支援が必要となり、そのために生活困窮者自立支援という制度を使い、自立をめざして努力していただいております。

深澤（ふかさわ）議員にご提案にいただきました「ボランティア活動を通じて達成感を得ることや世の中の役に立った。」という体験は、大変貴重な経験であると考えますが、市としては、まず働ける人は少しでも働いていただいてそこで賃金を得て達成感を感じてもらい、働く準備から必要な方には就労できる準備をしていただくことが大切だと考えております。